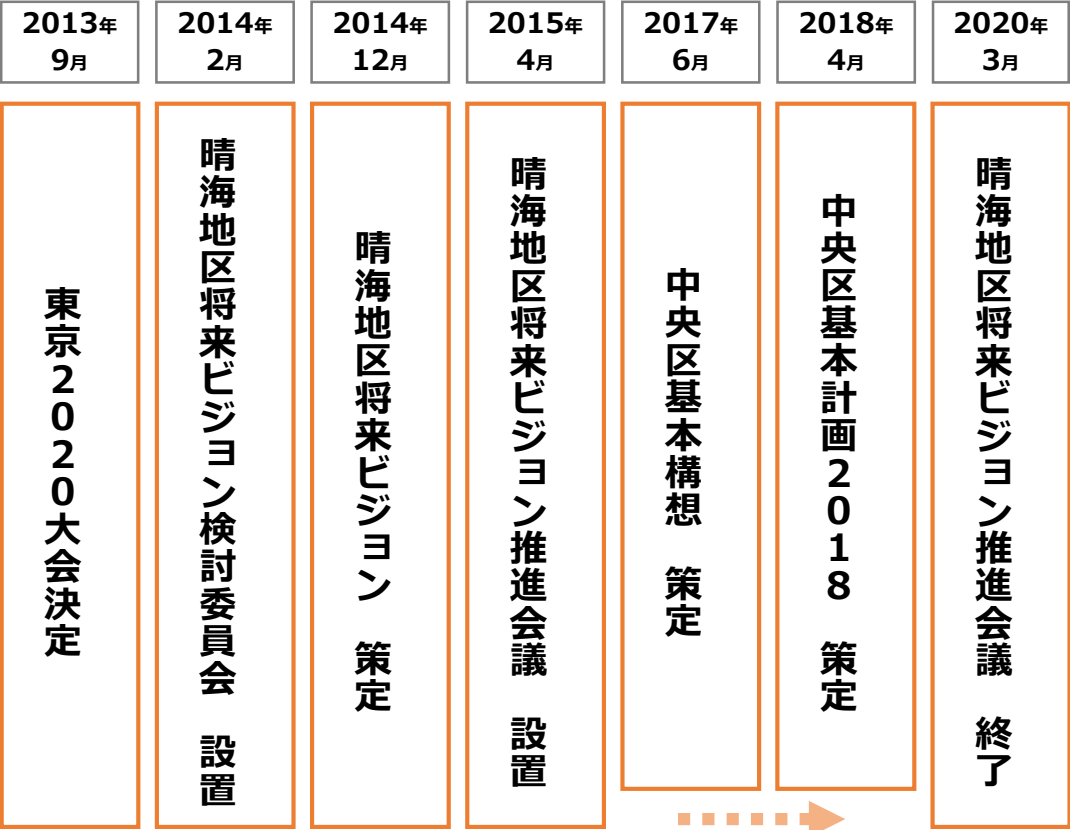


晴海コミュニティ構想検討会議 活動報告

資料 1

●設置経緯



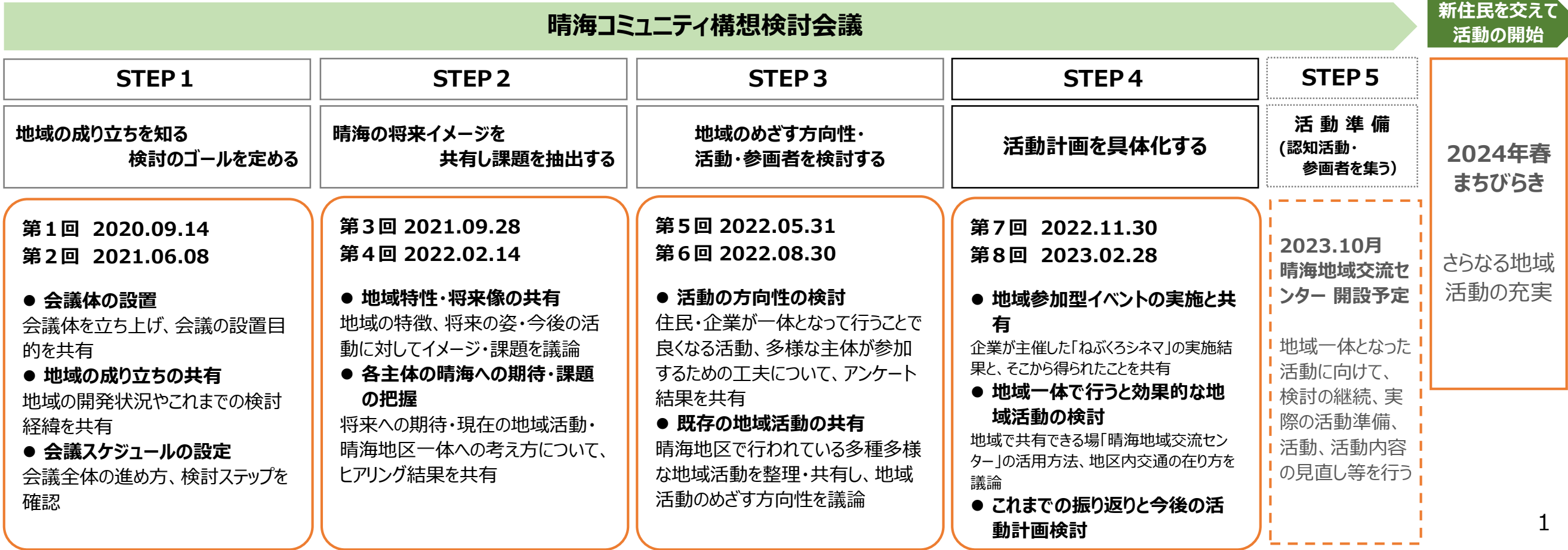
2020年9月 晴海コミュニティ構想検討会議 設置

背景： HARUMI FLAGの整備により、12,000人の人口増が見込まれる中、新旧のコミュニティが協働し、先進的なコミュニティを確立するための議論の場として当会議体を設置

目的： まちびらき以降の晴海地区における「良好な住環境の形成」「資産価値の向上」等に寄与する、持続可能な発展型まちづくりの実現に向けた議論を行う

構成メンバー： 晴海連合町会代表 12名
晴海をよくする会代表 6名
HARUMI FLAG代表 1名
中央区 3名 計22名

●これまでの振り返り



晴海コミュニティ構想検討会議 活動報告

●これまでの議論のまとめ

今までの議論のなかで見えてきた晴海地区全体で行う地域活動・コミュニティの在り方

- 現在行われている大小さまざまな活動を積み重ね、継続させていくことが重要。
- 地域活動に主体的に参加することがコミュニティ形成につながる。
- 持続可能な地域活動の実現には住民と企業の協力が不可欠。
- 様々な主体が連携し、活動を広げるために、情報伝達・共有は重要な課題の1つ。
- 交通インフラの整備や地域活動の場所の確保は行政との緊密な連携が必要。
- 伝統文化、歴史、地域特性等 “晴海ならではの価値”を生かした活動がまちの一体感を醸成。
- 晴海地区全体で一枚岩となって活動していくための仕組みや工夫が必要。



まちびらきの前年度となる令和5年度においては、晴海地域交流センターのオープニングセレモニーをはじめとした、具体的な取組内容を検討していく。また、地域活動の運営については、その進捗等に応じて柔軟に対応していく仕組みづくりを検討していく。

晴海地区における既存の地域活動に関するアンケート

(実施期間：令和4年7月1日～7月14日)

目的・概要

- 晴海地区一体となった街づくり・地域活動の検討の手がかりとするために、地域で行われている個々の活動について、晴海コミュニティ構想検討会議構成メンバーにアンケートを実施。
- 住民代表の参加者には、規模や内容にかかわらず、携わっている全ての活動について、企業代表の参加者には、晴海地区以外の参考事例も含めて携わっている活動について回答いただいた。

結果

● 晴海地区における地域活動の特徴

目的ごとに分布の差はあるものの、多様な目的の活動が「狭域」「個」から「地域全体」「多様な主体」まで幅広く展開されている。

● 活動目的ごとの特徴

安全で快適、住みやすさ・働きやすさ

コミュニティごとに類似する活動も多いため、近隣との連携や他自治会での転用など今後広がりを生みやすい。

イベントや多様な事業による賑わい

伝統行事を含めた連合町会の活動が地域全体の活動として定着している一方で、新たな活動やSNSでの連携も生まれている。

豊富なパブリックスペース・サービス

地域活動の基盤として、多様な主体が関わる組織や会議体が構築されている。

晴海地区における既存の地域活動に関するアンケート

資料 1

参考資料

晴海地区で行われている活動について

＜活動の規模・関わる人による分布（全体） イメージ＞

